

豊田市議会9月定例会が閉会しました



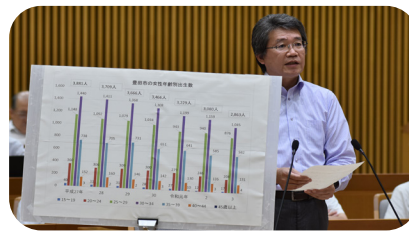
日頃から議員活動、後援会活動へのご理解とご支援をありがとうございます。9月定例会では令和5年度の決算審査（P3掲載）を行いました。私は一般質問で、本市の「少子化問題」（P2掲載）を取り上げました。また、WRC（世界ラリー選手権）追加予算2.5億円などを審議し、可決しました。

これからも各種問題に対して、皆さまの声を伺いながら対応、活動してまいります。皆さまには引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

豊田市議会議員 岡田 耕一

おかだ耕一市議の一般質問 YouTubeでやっています

おかだ耕一市議は、動画配信サービス「YouTube」を活用した情報発信を行っています。豊田市議会の一般質問についても配信中です。9月定例会は以下のとおりです。



1) 暴論！豊田市版少子化対策

おかだ耕一市議と気軽にお話しませんか？

※居酒屋トークを除き、乳幼児を含むお子様連れ大歓迎です。

下記の日時にかかわらず、2人以上でご連絡くだされば、対応いたします。

中高生の皆さん、若い皆さん、主婦の皆さんもぜひご参加ください！

ランチトーク



と き：令和6年10月10日(木)
令和6年10月22日(火)
令和6年11月13日(水)
いずれも11時半～13時頃
ところ：市内の飲食店
(後日、ご連絡します)
参加費：1,000円程度の実費
対象者：どなたでも
申込日：いずれも3日前

カフェトーク



と き：令和6年10月10日(木)
令和6年10月22日(火)
令和6年11月18日(月)
いずれも14時～15時半頃
ところ：おかだ耕一後援会新事務所
(宝来町4-758-140)
参加費：100円
対象者：どなたでも
申込日：いずれも2日前(当日可)

居酒屋トーク



と き：令和6年10月10日(木)
令和6年10月19日(土)
令和6年11月22日(金)
いずれも18時～20時頃
ところ：市内の飲食店
(後日、ご連絡します)
参加費：3,000円程度の実費
対象者：20歳以上のどなたでも
申込日：いずれも4日前

上記以外にもZoom、LINE、Skype等を活用し、自宅等に居ながらのオンライントークを開催いたします。日時など、ご相談ください。

ところ：ご自宅等、インターネット環境のある場所
参加費：なし(各自飲食自由)
対象者：インターネット環境がある方

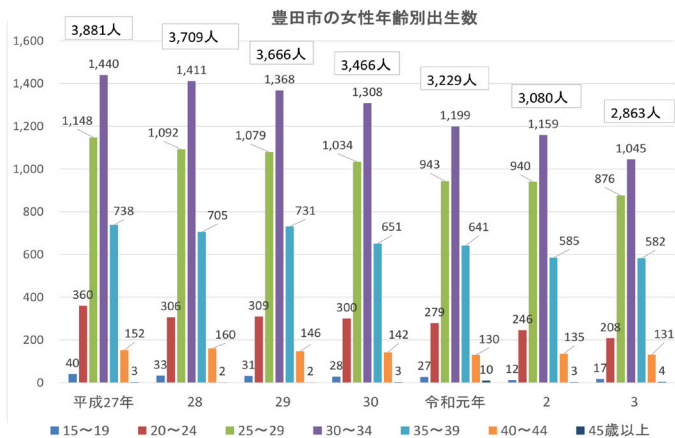
～会報104号までのあゆみ～



バックナンバーは
こちらからご覧いただけます



政府の「異次元の少子化対策」、期待すれど現実には少子化に歯止めがきかない状況である。豊田市も例外ではない。そこで、暴論を提案し、その実現可能性と対応について質問した。



1) 市が進める少子化対策事業は？



現在進めている本市の少子化対策の事業概要は。

- ①子育ての不安や孤立感の解消として、助産師など専門職による産後の訪問相談支援や産後ケア事業の拡充等
- ②仕事と子育ての両立支援として、働き方改革に取り組む事業所の裾野の拡大、一時保育の拡充等
- ③経済的負担の軽減として、給食費の無償化や子ども医療費無料の対象者拡大



2) 本市独自の少子化対策の考えは？



18歳学齢期以下の子3人以上の多子世帯に対する以下の提案をする。月額2万円の市独自の教育クーポン券支給、住宅取得時の県税相当額の補助金交付、固定資産税の5割軽減、都市計画税の全額免除、持ち家家庭の第3子以降の出産祝い金100万円支給、おいでんバスの家族全員の運賃無償化や名鉄バス等民間事業者による運行補助。これらの制度導入の可能性、考え方を問う。

これらは転出抑制や定住には効果があるかもしれないが、少子化対策としての効果は不透明である。税などの負担軽減は、比較的高所得者層に有利に働き、有効性、公平性などの観点から慎重に検討する必要があり、ご提案の制度導入は難しいと考える。



3) 若者の出会い創出事業の推進を！

全国の自治体では国の交付金を活用し、札幌市のセミナー付き婚活イベント、宮城県栗原市など4市町合同婚活事業、福島市の結婚を希望する独身男女の身近な相談役としてお世話焼き活動を行う「マリッジサポーター」事業などを進める。本市でも出会い創出事業をさらに進めるべきだ。



結婚支援について複数自治体による連携など、広域的に行うことでより効果が高まると認識。愛知県が主催する婚活イベント等の情報を市民向けに適宜発信している。

本市独自の取組として青少年センターにおいて、若者自身が自由な発想で自分たちが参加したいと思うイベントを企画・運営しており、それを支援。

今後、愛知県がAIを活用したオンライン婚活を実施する予定。本市は、当該事業の利用促進を図るとともに、若者が主体的に実施する婚活イベントを支援する。



4) 太田市長の少子化対策の想いを聞く

本来、少子化対策は国で一元的に行うべきだ。また、国や自治体、私たち年長者が若者に向かって、「結婚しろ、子どもを2人以上産め」などと言うべきではない。

そこで、基礎自治体のトップとして、太田市長から国や県に対して訴えたいこと、少子化対策への想いがあれば、伺いたい。



(太田市長、答弁を避け、部長が答弁)

少子化は日本全体の大きな問題であり、地域社会の持続可能性にも深く関わる問題である。少子化対策を進めるにあたり国、地方公共団体、企業の連携が非常に重要。

そのため、国県に対して、長期的な視点での予算確保や、雇用の安定や賃金の改善、働き方改革など企業と連携した取組の更なる強化をお願いする。同時に、本市において、本市の実情や課題に応じた対策の更なる充実を図り、子どもを産み育てることを希望する人々が、より一層安心して妊娠・出産・育児ができるよう取り組んでいく。



「令和5年度決算」からわかったこと&おかだ耕一市議の考え

ふるさと寄附金(ふるさと納税)

豊田市の税収には大きなマイナス!

市民が他自治体へ寄附したことによる個人市民税の決算額は約15億9,000万円の減収となった。同様に法人市民税の決算額は約5億8,000万円の減収となった。

ふるさと寄附金制度の影響等から本来、市に入るべき市民税が年々減少している状況。

本制度の理念は素晴らしいが、多くは所得の再分配を否定するかのような高額所得者に有利なカタログショッピング的な状況になっている。

寄附総額 - (寄附金推進費+個人・法人市民税影響額)

年度	豊田市税減収額 (円)
令和3年度	-9億7,000万円超
令和4年度	-15億2,000万円超
令和5年度	-20億2,000万円超

本制度が変わらない限り、この傾向はますます大きくなるだろう。国には返礼品に頼らない理念に沿った制度となるよう抜本的な制度改正を期待する。

議長公用車の取得と車種変更

従来より議長車は、セダンタイプをリースしていた。今回、議長の乗降時に身体への負担軽減を重視してアルファードE Lを購入。負担軽減だけでなく、同日中に複数個所を移動する際に、着替えができる車内空間があること、テーブル装備があり、執務対応等ができる仕様となっている。

当初予定していたレクサスLSの予算金額1,693万円と比較し、約60%、725万円削減ができた。

維持管理では、燃料が、レクサスがハイオク仕様であったことに対し、アルファードはレギュラー仕様であり、燃料費の削減にもつながっている。



以前のリース契約から購入に切り替えたことで5年で196万円の経費削減効果があり、車種変更も含め大幅に経費削減できたことを評価する。しかし、グレードには一考の余地があると考える。

返礼品を期待しない動物愛護寄附金 尊いご寄附に感謝!

動物愛護寄附金は26人の豊田市民の方から約30万円、豊田市民以外の方568人から約770万円ご寄附いただく。寄附者へは返礼品はなく、お礼状及び寄附金の使途に関する資料送付のみ。



主な活用実績は、寄附金から購入した動物ICU 地域猫捕獲用オリなど消耗品に5万円、手術器具や医薬品等に19万円、地域猫活動調査・啓発手数料に95万円。動物用ICUに368万円、ワクチンや検査用品等に169万円、譲渡時の啓発用品など消耗品に86万円。

こうした尊いご寄附に感謝するとともに寄附者の意向に沿った活用を期待する。

今後もボランティアの皆さまと意見交換を継続し、地域の動物愛護活動に対して市としても主体性をもって活動されることを期待する。

プラスチック資源化の流れと経費

渡刈クリーンセンター隣にプラスチック資源化施設がある。ここへ運ばれたプラスチック製容器包装は人の手で異物を取り除き、圧縮・梱包して、ベールと呼ばれる1m四角のブロックの状態にする。そのベールを(公財)日本容器包装リサイクル協会の指定する業者に引き渡す。

その後、再び異物の有無を確認し、破碎、洗浄、熱処理してペレットと呼ばれる粒状の状態にし、パレットなどのプラスチック製品にリサイクルしている。

施設の運営コストは、運転管理業務の委託料や修繕料、消耗品等で約9,500万円。また、輸送費や資源化費用のうち99%はプラスチック製容器包装を製造する事業者やプラスチック商品の販売業者などが負担。市は1%分を負担し、R5年度は112万円だった。



おかだ耕一後援会の今後の予定

- 1) おかだ耕一市議と各トーク会 (P1掲載)
 - 2) 親睦マレットゴルフ大会 11月上旬
 - 3) 親睦バス旅行(日帰り) R7年4月～5月
 - 4) 親睦バス旅行(1泊) R7年4月～5月
- ※ 2)、3)、4)は別途ご案内いたします

無料法律相談のご案内 ～行政相談もどうぞ～

弁護士に無料で相談できます。完全予約制といたします。ご希望の方は3日前までにご連絡ください。

【開催日】10月12日(土)、11月9日(土)
12月14日(土)

【時間】いずれも午後1時30分～3時

【主催】市政改革・とよた市民の会

【場所】予約時にご連絡いたします

お問合せ 小林おさむ 80-5323

新しい風とよた

第2回 市民交流会のご案内

会派「新しい風とよた」は議会報告会と市民交流会(意見交換会)を下記のとおり開催いたします。お誘いあわせのうえ、ぜひ、お越しください。



【開催日】11月23日(土)

【受付】午後2時15分頃～

【開演】午後2時30分頃～4時15分頃

【会場】豊田市福祉センター 45・46会議室

【参加費】無料

【対象者】乳幼児を含む、どなたでも

【申込】不要

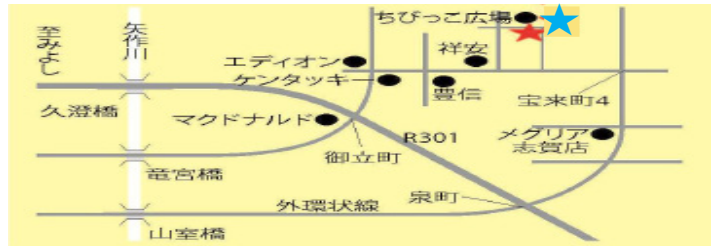
【連絡先】代表 おかだ耕一 090-1752-7529

おかだ耕一後援会事務所移転のお知らせ

おかだ耕一後援会事務所を移転しました。同じ宝来町内で旧事務所から徒歩1分の場所です。

今後のカフェトーク等は新事務所で実施します。お間違えのないようにお願いします。

★宝来町4-758-121 → ★宝来町4-758-140へ



会報お届けに関するご支援のお願い

おかだ耕一後援会では通常、後援会会報を年4回、2万3千部/回、発行しています。そのうち約3千部を郵便による送付、約2万部をおかだ市議(約8千部)を含め約40名の支援者の皆さまのご協力(無報酬)で各ご家庭に配布していただいています。

しかしながら、支援者の高齢化に伴うボランティアさんの減少、おかだ市議の活動の多様化等により、今までの地区、タイミングでの

お届けができなくなりつつあります。また10月1日から大幅に郵便料金が値上げされました。

そこで、配布業者への委託、新聞折込への移行等を検討し、次号から郵送、配布について一部地区では変更させていただきます。ご理解願います。

そこで、あらためまして、ご寄付のお願い、配布ボランティアへのご支援(有償、無償)をお願いするところです。よろしくお願いたします。

市政に関する疑問、要望、情報等お気軽にお寄せください

TEL/090-1752-7529
FAX/88-9194 E-mail:okada@ko1.org



《連絡先》

おかだ耕一を支えるご寄付は下記へお願いいたします

三菱UFJ銀行 豊田支店 (普通) 1113815 おかだ耕一後援会
郵便振替 00820-9-205061 おかだ耕一後援会
《他行からの振込口座 9900 089(当座) 0205061 オカダコウイチコウエンカイ》

ご寄付いただいた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申しあげたいため、ご一報くださるようお願いいたします。なお、政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、外国籍の方や企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。